油豆行情（中曆三月十九日）

集市元豆六吊百至六三吊二百
紅糧價錢五吊四百文至五吊
集市共上車三十餘輛
邊東共來七十餘輛
元豆六吊九百至六吊八百

一七九半紙　全　一圓八十錢
一連紙　一連　一圓
一フールスカップ　全　四圓
一中判洋紙　全　二圓
一半紙罫紙　百枚　二十錢
一卷紙　四十枚續　十四錢

一今三組道具　一圓五十錢以上一圓七十錢
一椅子　一圓五十錢以上四圓五十錢
一簞笥　三十圓以上三十五圓
一卓子　四圓五十錢以上十三圓五十錢
一卓子掛　六圓以上十二圓
一廚房用戶棚　七圓五十錢以上十圓

一縞毛布　一枚モノ　四圓以上六圓五十錢
一長火鉢　八圓以上十一圓五十錢
一箱火鉢　二圓以上三圓五十錢
一宣德火鉢　一對　六圓以上九圓

Rates for Advertisement 20 cts. per line.
Payable in Advance. Postage Included.
*The Manchuria Daily Report Office.*
*Newchwang.*
Telephone No. 29.


告料　一ヶ月以內　銀十五仙乃至十仙
一長期連續減價面議

發行所　清國營口中盛街　滿洲日報社（電話二九番）


# 滿洲日報


○報價目
每月收取八角代費所及送報人并無分毫加增

○告白刊例
一行五號二十一字起碼登一日者每行二角每登十日行一角五分登月者每行每日一角登長年者價當面議從減
每張四百文



特別廣告

▲資本金貳千四百萬圓
▲積立金一千壹百五拾萬圓

本支店出張所
橫濱　神戶　東京　長崎　大阪
倫敦　里昂　紐育　桑港　布哇
孟買　香港　上海　天津　北京
大連　旅順　奉天　芝罘　鐵嶺

電話　十番　支配人室
　　　百八番　事務室

橫濱正金銀行牛莊支店

日本郵船株式會社
瀛船出帆廣告

山東丸　三十一日　太沽、芝罘、門司、神戶行
相模丸　六月三日　太沽、芝罘、仁川、釜山、長崎、門司、神戶行

乘船切符發賣は出帆前三時間マデ
未明出帆ノ分ハ前日午後五時マデ

營口代理店　旗昌洋行（電話二六番）

瀛船出帆廣告

日進丸　廿五日　芝罘行
鎭海丸　廿六日　門司、橫濱行
摩耶山丸　廿六日　門司神戶行
萬成源丸　龍口定期

乘船切符は弊行にて發賣仕候

松茂洋行船舶部（電話五二番）

新荷着

朝日ビール、スペシャルライト
廉價販賣仕候
滿洲一手販賣元

松茂洋行商品部（電話五二番）

大阪商船株式會社
瀛船營口出帆廣告

盛航丸　廿六日　門司橫濱行

代理店
ブラクレユ兄弟商會
東營口公園地横
遠來洋行（電話二十三番）

宅洋行

啓者敝行專賣綿紗粗布綿絲布荷花標布東洋緞子紋緞子布手巾花巾洋燭火柴糖表等類價值格外克己並且貨實價以致敝行名譽日增前蒙官許在牛家屯設立鐵道運輸營業以便貴客就近辦理各項事宜於敝行推廣招徠之意愈覺著明所有華商賜顧本行一專聘熟悉商情之華人宋厚田氏細心接洽欵待周詳俾可面商一切事宜幸中外士商鑒其誠實無欺惠臨賜顧爲勝榮幸之至

總司理人　田中顯之助謹白

開設老爺閣街同盛德院內　電話（店一八三番　住所五五番）

東盛和

本號在營口創設二十餘年專辦出口餅油豆各等土貨進口棉紗布疋火柴洋麪糖煤雜貨發行並匯兌銀錢兼代客經理買賣租船裝運事宜營口廣東兩處自建碼頭能泊輪船二艘棧房地方寬大凡裝卸貨物極爲利便囤貯油餅豆米麥更爲合宜兼置有輪船一艘名城多利能載重二萬担如有欲租船運貨及存棧貨物水腳棧租格外從廉　貴客賜顧請到小號面議是荷

總司理人　葉亮卿謹白

東永茂

機器油房在營口創辦油搾生意多年以本營業非祇做油房壹事及經理買賣雜貨布疋等物幷代客莊運汽船配載事宜三井行與本店素稱交厚並與各南北客經理有年誠信相孚遐邇知之

正理事潘玉田　副理事金德魁　設在營口西北街路南

西義順

本號開設營口西街老爺閣前路南營乙第五號專營裝卸輪船上下各貨照料稞栗堆棧寬大凡中外士商賜顧者請認明招牌決不致悞

本主人敬啓

仁裕號

保險運各等火輪船生意兼營各樣洋貨糧石等此佈

營口西大廟街路北營乙第十三號

丸三洋行分莊

啓者本行開設於元神廟街精工自造羊肚手巾東洋緊身洋式襪子以及各樣雜貨俱全無不精美價值格外從廉賜顧者請光臨本行面閱是幸

丸三洋行分莊謹啓

永順洋行

本行在東京開設三百餘年專辦布疋此次得大日本政府特許設運各色布疋手巾綢緞綿子法蘭絨等貨來埠發售顏色鮮明俱照中國土布家機自染決不退色價亦格外公道官商光顧請到本行面議

西北街　東櫃（電話九十五番）
西義順棧內　西櫃（電話九十八番）

代代木烟公司

本行專售　日本官造紙烟　星象牌（斯達）櫻花牌（撒科）百合花牌（利利）均已馳名內外茲特選上等烟料加工精製雙仙鶴牌（隆沽來福）清香撲鼻佳美適口而價値極廉　諸尊欲請可向敝行或請至本行公司代理店西營口大德元採買庶不致誤謹此廣告

本行瀛船　摩耶山丸　順朝丸　專往東洋各埠

啓者本行開設在東營口輪船代理店海上火險公司及報客稅已有年矣今承關東總督府之特准開設東清鐵路公司運送貨物自牛家屯大連至昌圖府均有分棧大連鐵嶺另有分行幷各有中國人辦事今又設理雜貨生意專辦上等石炭棉花火柴洋布旭牌卑酒日本清酒一概俱全另有清國人執事如蒙中外士商光顧請來元神廟街爲荷

松茂洋行（電話五十二番）

矢野洋行

啓者本行開設營埠已週一載幸蒙貴客商愛顧接踵購買致敝行名譽日增不勝榮幸現將發賣各種樽詰味噌醬油以及磁器油器傢俱東洋綢緞帽子手巾地毯洋傘團扇玻璃鏡暨婦女一切妝品胰皂皮包皮箱等類物美價廉核實輕減定價不二貴客賜顧請玉臨面議可也

營口元神廟街　電話百三十七號　本行主人啓

三井　電話　第六十六號　第九十一號

啓者本行開創在中外通商各埠已有年歷所售棉紗、棉布、火柴、煤炭糖、海參等各貨均皆物美價廉名馳遠近如蒙各商光顧請駕臨是荷

○發售新到洋白糖

倉庫部

今回倉庫所在地（靑堆子精搗場上隣り河岸）の取扱所に電話を架設致し候間貨物の出入其他倉庫に關する一切の件は同所へ御照會被下度願上候（電話百二十八号）

○發售日本白米

經理

○明治火險公司

本公司開立已久分行上海、香港、天津、各地方中外馳名一概章程仿英例一式遇事克已秉公以廣招徠有願保火險者請至本行面議

○東京水險公司

啓者本公司開設在三井洋行內已久實存資本百五十萬元、分行、新加坡、倫敦、孟買、天津、上海、香港、各地方中外馳名一概章程仿英例一式遇事克已秉公以廣招徠有願保平安、水漬、兵險者、請駕至本行面議

洋行　電話　第六十六號　第九十一號

周　鐵道遼河裕和盛運輸局（電話八十一號）
在東營口西北街旗昌洋行對門

啓者本號向在日本長崎開設數十年幷店在朝鮮國漢城仁川木浦旅順烟臺營口鐵嶺等處專賣中外雜貨疋頭食物器具酒烟兼代客報關裝船裝車今又承辦東淸鐵道運輸局代客裝運貨物各車站均設分局格外周到不悞主顧

總司理主人　周鶴雲
運輸部主任　高濱麟太郎　謹啓

飯塚工程局材料出售

啓者本局今特與日本北海道天鹽木料公司訂以日本輪船運到各種木料品質精良久已馳名四遠以之架造屋宅及製各色傢具無不合宜且價値格外從廉克已凡中外士商賜顧者請來本埠東營口元神廟街本工程局面議不悞再本十新到各種木料東洋炸子眞價實以應各主顧局急之需　本主人啓

遼河運輸同濟公司

本號經官准由營口包運東淸遼河各埠車船貨物凡客商有運之貨早交本號及各處分莊運送決無悞失如蒙　貴商光顧者請至本號面議特仰週知

東　營口南永世街北斗洋行
西　櫃開設　營口西北街塘子胡同內

上海　中井洋行　專運日本各式紙料

本行開設已歷多年會與日本製造名廠訂有專銷之約凡新聞紙料印書籍各式紙料莊票包棉紗料草板紙張川本機器連史紙五彩印字連墨其他各件紙料一切統由本行出售　貴客惠顧請至江西路五十一號門牌可也

中井洋行

志岐組木料棧材料出售

啓者本棧開設鎭口永安街專售鴨渾兩江之各種木料品質精良價値格外從廉克已凡中外士商光面議願請到本棧

營口元神廟前
工　飯塚工程局材料部（電話百三十五番）

弊局土木建築材料品の各產地と特約を結び廉價を以て多少に不拘賣却仕候間御引立の程奉希上候
一北海道產松大角材外種々
一石灰、石材、敷石、碎石、煉瓦等
一日本石炭數種

丸重洋行　貨物運輸

啓者本行前在營口臺賣雜貨已有年今經關東總督府之特准開辦東淸鐵路運貨不論貨種多少以安全迅速誠實廉値籌貨主之利便爲旨　如蒙中外士商光顧請來營口西北街本洋行或牛家屯火車站構內分莊面議不悞

電話　營口　拾八番　牛家屯　四拾六番

廣告

今般元神廟街憲甲第二百三十號舊宅合名會社營口支店（澤龜）跡へ移轉仕り外來及入院患者の治療に從事致候此段謹告仕り候也

明治三十九年五月二十四日

酒井醫院　酒井榮次（電話第一一九番）

今回海陸連絡の便を計る爲め當行瀛船顯朝丸、摩耶山丸、第二攝海丸中國丸の四隻を以て大坂、神戶、門司、大連、營口間を定期航海せしめ滿洲內地には左の箇所に出張所を設け海陸及輸送輸出入品委托販賣業に從事仕候に付き陸續御用仰付被下度候也
猶東淸鐵道各驛に代理店を設置し御便利相計り申候

本店　大阪市西區西道頓堀貳丁目　河邊商店
支店　營口元神廟街　松茂洋行
大連信濃町百十一號　松茂洋行出張所
奉天小西門外大街路　松茂洋行出張所
鐵嶺西門外　松茂洋行出張所
昌圖府驛　松茂洋行出張所

東京電報

●聯合會議後聞　昨電の如く首相邸に於て各元老大臣の聯合會議を開きたりしが當面の重要議事は伊藤侯の提案に係る滿韓經營問題にして昨夜已に其解決を告げたりと

（五月廿三日午後六時卅五分發）

倫敦電報

●羅馬法王の罹病　羅馬法王は心臟病の爲め病床に在り其爲めに面會謝絕中

●奉答文と露國議會　露帝は宮內大臣の手を經るに非れば議會の奉答文を受理すると能はずと議會に通知せり議員は此に對し不快を感せしも差當り之を以て戰を挑む口實となさざるに決せり

●佛國の選擧結果　佛國政府黨は總選擧によりて新たに五十八名の議員を增し社會主義團体は四十五名を增し國民黨議員最減少せり

●英國皇甥の賞賜　コンノート親王殿下はガーター勳章捧呈の爲め日本への使節としての勳功に對しビクトリア鎖を授與せられたり

●練習艦隊の歡迎　日本練習艦隊はシドニーに於て盛大なる歡迎を受けたり

●ス將軍の到着　スチーヅンソン將軍は軍事行動視察の爲めズールーランドに赴く途中ピーターマクソバルグに到着せり是れ或は近衛兵を使用する準備ならんかと臆測するものあり

●獨帝の勅書とビ公　獨逸帝はビユウロー公に書を寄せて公の勳功に對し感謝の意を表し猶獨逸帝國の爲めに永く社稷の臣たらんことを祈れり

（以上五月二十二日發電）

雜報

●伊藤侯の希望（其滿洲に對する意見）

韓國統治の途、今や稍や其の緒に就き來りしかば伊藤統監は韓國歸任後直に滿洲視察の途に上り次で北京に入る筈なり滿洲經營に對する侯の意見は滿洲を以て單獨と見做さず韓國經營と相伴はしむるにあるが侯は行々自から滿洲をも併統せん希望を懷き居るとの說あり而して侯は滿洲經營調查の方針決定に對し參畫するため本月末頃まで滯京すべしと云ふ

●露國の三政派

久しく彼得斯堡に遊歷し居りたる某露國通は觀察して曰く露國には由來根本法なる不文典儼存し國體の基礎と爲り居れるが今根本法を中心として考ふるに（一）官僚派は萬事を悉く根本法に依て解決せんとする不動の確信を有す從つて武斷的專政的に陷りつゝあるも（二）民黨の殆ど全部は表面より之を打破して絕體の自由を得んとするに努め其の行動を主として社會主義的極左黨的に傾きつゝあり（三）獨り其の中間に介在して露國の根本法を我が國の大權又は獨逸のホーヘイトレヒト的（最高權）のものとし其の範圍內に於て人民の自由を有せんとしつゝあるはウヰツテ伯の一派の文治派にして其の他識別し難き黨派なきにあらざるも露國の政界は大體右三大派に分別すべし從つてウヰツテ伯の如きも官僚側より見れば極端なる急進改革派なりとして忌れ民黨側よりは緩漫主義を懷ける阿附的政治家なりとして彈劾を受け遂に冠を挂くるに至りたるものにて斯る境遇は由來政治家の屢〻遭遇する所なるべきも其の心事寧ろ哀むべきものあり云々

●開放すべき都市

●好意の忠告

奉天、安東縣、大東溝の三地は素と一千九百三年十月八日の條約即ち日淸、米淸の兩條約に基き日露戰爭前より既に開放されしも其後間も無く日露の戰爭と爲りしかば列國は勢ひ之を交戰地と見做さゞるを得ざるに至り自然非開放の姿と變じたり然かも日露の平和既に克復したれば右三地を以て長く戰時の狀態に放棄し置くべからざるを以て英米の兩國は好意の忠告を差向け結局安東縣、大東溝の兩地は本月一日より開放したるが尙ほ奉天も六月一日より開放すべく豫期されたり而して昨年十二月廿二日の北京別約第一條に據れば淸國政府は日露軍隊撤退の後成るべく速に外國人の居住及び貿易のため自ら進んで滿洲に於ける鳳凰城、遼陽、新民屯、鐵嶺、通江子、法庫門、長春、吉林、哈爾賓、寧古塔、渾春、三姓、齊々哈爾、海拉爾、愛琿、滿洲里の十六都市を開放すべき義務を負へるが右十六都市は今より準備して日露撤兵期後急速開放せば支障無しと雖も前記三地は全く性質を異にせると同時に奉天の開放は躊躇すべからざるものにて列國は之が開放を待ち他の十六都市の開放に對する準備をも行はんとするが如く我が滿洲經營調查會は無意味の調查に時日を空過するを許さゞる次第なりと云ふ

●東淸鐵道處分

東淸鐵道の處分如何は今後滿洲經營上に大影響を來すものなるが從來同鐵道は軍事當局者と西園寺首相との間に屢〻意見を異にする所ありしが結果首相今回の視察旅行となりしもの丶由なるが其の視察歸京後の談話なりと云ふを聞くに同鐵道は軍事當局者の言ふが如く有事の日は最も重要なるへけれども是れとて政府監督の下に相當の條件を付せば開放し置くも有事の時何等の支障なき事と信ず且つ同鐵道をして絕對的政府の監理と爲す場合には列國をして日本は滿洲に事を構ふるものなりとの猜疑を懷かしめ延いて僅少なる誤解より國家の重大問題を惹起することとなしとも限らざれば同鐵道の處分は餘程の愼重を要すべきものなり今回實地視察の結果は大に得る所ありたれば今後は只斷の一字あるのみと云へり

●滿韓守備兵交代法　增設四箇師團は現に滿韓兩方面の守備に任じ居れども永久此の師團に限定すへきものにあらず一定の期間を限り交代せしめさるへからず而して交代の方法は如何にすへきや全師團を擧げて交代するは殆ど不可能なるが故に各師團より若干部隊づゝを派遣して守備に任ぜしむる事恰も臺灣守備兵の如くならしむへしと

●軍票の時價　戰爭當時政府が滿洲に於て發行したる軍票は一億四千萬圓の巨額に上りたるも其の後正金銀行支店をして是が引替に從事せしめたれば現今にては僅に三十萬圓餘を殘すに過ぎず是れとても年內には全部引換濟となる豫定なるが銀塊相場騰貴の爲め內地相場に換算すれば百二圓の時價を保有しつゝありと

●旅順の忠魂碑　東鄉乃木兩大將の主唱に係る旅順白玉山頭の忠魂碑建設計畫は着々其步を進めつゝあり當初は我軍の戰死者のみを弔ふの計畫なりしも戰場に相見えてこそ敵味方の別あれ白骨なりし以上は最早敵味方の區別なきを以て日露兩國の戰死者を合祀すへき忠魂碑となし恰も戰場に於て赤十字病院が交戰國双方の戰傷者を收容して博愛の精神を貫徹するが如くなすへしとの議昨今建設委員間に起りつゝありといふ

●大連通信　五月二十二日　特別通信員

▲民政長官の巡視　石塚民政長官一行は今朝九時管內巡視の途に上られ候多分二十六日には歸署海軍紀念祝賀會に參列の筈に候

▲本願寺の降誕會　本願寺の宗祖降誕會は兒玉町滿洲館に於て開かる招待を受けて會する者石塚民政長官を始め上長官以上の官人軍屬民間紳士新聞記者等にして百有餘名席上大連詰布敎師主座龍江師の挨拶あり民政長官の答辭あり殊に一の異彩を放ちしは日匹倉庫長が靑年基督敎會を代表して爲したる演說にして言ふ所簡單なりしも言々皆肝膽を衝て出て聽者をして爲めに襟を正さしめたりき當日は同寺の經營に係る北公園內の大連倶樂部の新築落成式を併せ擧けたるものにして餘興として角力あり演劇あり殊に慈善市の開かれたるありて開店するもの十數軒之れ又繁昌仕候

▲大棧橋使用許可　愈〻大連大棧橋の使用許可さるゝ事となれり未だ發表せられさるも漏れ聞く所によれば繫船料は一噸に對し五錢、埠頭使用料一噸十五錢、倉庫使用料一平方坪二錢、人一人五錢との事に候、其價廉ならず之れ陸軍省の規定したるもの丶由に御座候

▲橫濱丸の神連航路　郵船會社の橫濱丸は神戶大連間の航路を開始せり客待遇其他に於て頗る評判よし同船は昨夜又々入港いたし候、二十四日出帆の由に候、同船は二千三百噸あり當地に寄港する船舶中の最優等なるこそ敢て贊辯を弄する必要無之候、門司大連間を四十五時間にて航海いたし候、之れを商船會社船の五十二時間に比すれば七時間、社外船の六十時間に比すれば實に十五時間を短縮いたし候

▲上海行郵便物の速達　從來上海廻しの郵便物は門司經由に候處今回當地と芝罘間を航海する政記公司の滊船に托して芝罘に廻し芝罘より招商局の滊船にて上海に遞送することとにいたし申候、門司廻しの分に比すれば四日間早着することに相成たる次第に御座候

▲大連の不景氣と貯金　大連の不景氣を其郵便貯金によりて見る昨年十一月三万四千七百四十圓、十二月三万五十五圓、一月二万二百八十九圓、二月三万四千二百十八圓、三月四万七百七十七圓　四月三万千九百九十九圓等なり實に四月中の貯金高之を最高の三月に比すれば八千七百餘圓の減少に御座候

●遼陽の屠獸場（上）　綠城生

▲其設備と工費　遼陽を隔つること約一里太子河の左岸高燥の地をトし建造されたるもの即ちこれ遼陽屠獸場である本年三月竣成四月一日より開始されたのであるが其坪數は事務所室一棟居獸室二棟（一棟は牛一棟は豚）居夫室一棟の四棟より成り工費一萬圓を要したといへは如何に構造設備の完全したるかは言はずもがなである

▲摸範的好屠獸場　境內は廣く四隣人家と隔つておつて所謂絕海に於ける孤島の如き觀がある同場より遼陽間は一條の輕鐵が敷設され夫れで交通の便に供されておる想ふに位置は恐らく此以上を望んでも得られず眞に屠獸場としての好摸範で一度足跡を同場に印した人はヨモヤ此の批評を過大と想ふまい

▲現在の營業者　同場は素關東總督府の設計に成り遼陽軍政署に管理を移されたので即ち官營なのである而し屠獸其ものは請負に附し現時は農園會高野邦基氏外淸人一名の共同事業で屠獸を營んでおるが檢查官として遼陽病馬廠菊池二等獸醫が詰切つて執掌されておる

▲屠殺數と需要者　近頃の屠獸數は平均一日牛四五頭豚三十頭內外で無論遼陽界隈の官民日淸人の食用獸肉は此の屠獸場を經て始めて供給されるのである

▲菊池氏の肉食警察論　余或る日半日の閑を得たるを幸ひ同場に菊池獸醫官を訪づれ談偶々肉食警察論に移つたところが同獸醫は熱心面に溢れ縷々細說されたのを聞くに肉食人種の吾々殊に滿洲に在住者の服膺すべき價値がある而巳ならず又趣味も乏しくない所謂公衆衛生の一助ともなれば左に此を報することとした（文責余にあり）

●總督府事務分掌　去る六日を以て旅順に移轉したる關東總督府は已に引移後の諸整理を了し且つ又其事務分掌をも定めて參謀、副官、砲兵、工兵、經理、軍醫、獸醫、法官、郵便、軍政、民政の十一部に分ち夫々處務を處理しつゝある由なるが其內參謀、副官、經理、軍政の四部は露國時代の關東總督府參謀本部內に砲兵工兵、軍醫、獸醫、郵便の五部は露國時代の旅順市役所內に法官部亦露國時代の陸軍幼年學校內に孰れも選定したりといふ

●牛家屯の寂寞　輸送業者の死活問題として一時世人の注目を惹きたる例の才取者の橫行も其筋の保護宜しきを得て無事解決し今や純然たる輸送業者即ち十六公司の營業となり搗て加へて貨車の配置も從來よりは餘程潤澤となり日々數百の苦力を使役し盛に貨物の積卸をなし居たる所頃來俄然貨物の輸送は一頓挫を生し一日僅に五六車乃至十車の貨物を運轉し數十臺の貨車は常に停車場に殘留し當業者は殆ど閑散に苦しむ悲境に立ち至りたりと云ふ今其眞相を聞くに二あり一は當營口に於て昨年より日淸人間の問題となり居れる銀爐事件にして數十回重もなる人々等協議を凝したるも終に其効を奏せず此程十軒の銀爐店倒產の悲境に陷たる結果にして尙一つは寬城子以北即ち露國經營の鐵道貨物運賃非常の高率にして商品を輸送するも到底引合はざるに起因すと云ふ

●日本人會の總會　既報の如く日本人會定期總會は愈々明廿六日午後三時より同會々議室に於て開催する筈なり而して當日討議に附すべき案件は事務其他諸般の報告及び補欠議員の選擧等なりと云ふ因に評議員中權利消滅即ち歸朝移住辭任等の爲め缺員と爲れるは左の如し

依田治作、太田喜平、三谷末次郎、野間五造、松山增男、伊藤俊助、竹野虎雄、小林文郎、關七郎、中島眞雄、

●巡航船の試運轉　東省巡航公司の經營にかゝる遼河巡航船は昨日午前より各係員其他の人々乘船し試運轉をなしたる所各所の繫留所及び棧橋等の設備萬端遺憾なく整ひ居れる模樣にて婦人小兒と雖も容易に昇降し得られ些少の不便もあらざるを以て愈々本日より營業開始をなすと云ふ

●明後日の海軍紀念日（軍政署の家族的園遊會）

來る二十七日は日露戰爭最後の決戰たる日本海大海戰の戰況最も良好なる吉日にして露の東航艦隊を全滅し我邦の武威を世界に宣布せる紀念日なるを以て當軍政署に於ては祝意を表すへく署員一同園遊會を官舍に催すへき筈にて餘興として擊劍相撲テニス手踊等の催ありといふ但し同日は單に軍政署署員の內祝にして平生劇務の爲め上下團欒打ち寬ろぐへき機會の之れ無かりし爲め特に今回の好機會を利し家族的園遊會を催すへき次第にて在留官民の重もなる人々も別段請待せさる筈なりといふ

●苦力のストライキに就て　牛家屯鐵道貨物積卸の苦力等賃錢の差違より同盟罷工を企てたる事は既報の如くなるが尙當事者の話に依れば江村某の代理者は彼等苦力に對しては約束賃錢を支拂ひつゝあるも中間者の某淸人が其意を傳へず猥りに自己の勝手なる賃錢を定めたる爲にかゝる有樣になりたるなりと云ふ

●小田切氏の歸營　正金滿洲總支配人小田切萬壽之助氏は當地着任早々奉天支店に赴き居れる所一昨夜歸營せり

夏物商況

▲洋服　昨年の營口には戰爭中の事とて在留邦人も主に軍隊對手の商人のみにて自然洋服の如きも茶褐色の詰襟一般に需要者多く脊廣服着用者は官吏の外殆ど稀なりしが本年は大に其趣き異なりて詰襟着用者は至つて尠なく殆ど脊廣服のみにして尙一般に贅澤の傾向あり昨夏の如きは安物即ち十二三圓の品望人多き模樣なるも本年は二十圓內外品一般需要者多き姿なり尙近頃流行せる服地は紺黑立縞、元祿縞、薄茶色鼠色等なりと云ふ其相場を聞くに

| | | |
|---|---|---|
| リンネル | 三揃 | 自六圓至十五圓 |
| セル | 仝 | 自十四圓至廿九圓 |
| メルトン | 仝 | 自十四圓至廿八圓 |
| リンネル | チヨキ | 自三圓至七圓 |
| アルパカ | 上着 | 自八圓至十三圓 |
| 白セル | 三ツ揃 | 自十五圓至卅圓 |
| 茶小倉 | 詰襟 | 自五圓至十二圓 |

投書かご

▲近頃南永世街公樂亭の料理が甘くて其上三四割方安いとの事であつたから先日試に行つて見たら別段安くも何んにも無い人に依つて直段が違ふのであるか又は誤親類筋の御吹聽であるか怪しからん話しである（或店の老人）▲ヤーメンの鬚殿御承知あるや否や頃日日本白銅貨五錢に僞造品がボツ〱市中に現はれたり諸君御注意あるへし（注意生）▲何處でも日本館と申せば誰れでも知るやうですが當地の日本館は極小さい料理屋故近眼者には分りません同家に此頃營口より生け捕の猫は見せ物にすれば大人氣ですが此猫鼠より引くと上手でお茶をひく事は每晚です近頃主人も大頭痛仲居連中も氣の毒顏です（大石橋〇〇館板場連）▲五月二十日の貴紙に鍋色といふ字がありましたがあの字はどんな色の字ですか小生も字典を見ましたけれど一向にわかりませんゆゑ參考の爲め迄に御回答下されば幸甚の至りです（尋問生）▲昨年來滿洲日報に連載せられた牛莊領事館報告「過爐銀の存廢」てふ記事を拜見したいものだが初めより終迄の新紙御不用の御方は讓り與れらるゝなり又は借覽なり出來ないでせうか伺ひます（貧書生）▲とまを先生に問ふ昨紙人の噂てふ記事中大東氏の薬歌を御紹介になりましたが二上りとの事で再三再四二上りぶしで唸つて見ましたが調子はずれで一向唄へないがアレは一つ下つて三下りの立山では御座らぬか（道樂息子）

●頭陀袋　沈香も焚かず屁も放らぬものは吾人之を稱して木偶漢といふ而も世には之を眞面目なるものとして又なく寵愛するものあり宛も似たる哉馬も斬り人も斬る名刀の光りを怖ぢて豆腐も切れず泥鰌も切れぬ木刀の過ちなきを愛づるに乃ち知る其の人の腕の如何を（放屁生）

火車時刻

關內外鐵道

上り　營口發前八、二〇　七、〇〇　溝幇子同九、四五　九、〇〇　錦州同后三、四五　二、〇〇　山海關着六、〇〇　八、一〇　山海關發前八、一五　五、〇〇　塘沽同后三、二〇　四、一〇

下り　山海關發前七、〇五　四、四五　錦州同后三、三五　二、〇五　溝幇子同二、四五　四、四〇　營口着四、五五　七、五一　北京發前六、〇〇　天津同　一一、〇九　六、三五

東淸鐵道

新民屯發前六、〇〇　溝幇子着同九、五七　溝幇子發后三、〇〇　新民屯着同六、三七

上り　營口發前六、三〇　后九、三五　大石橋着同七、二〇　一〇、二〇　大石橋發前八、〇五　后一二、〇五　南關嶺后九、〇七　翌后三、〇七

下り　大石橋發前八、一五　后一一、一五　營口着同八、一〇　一二、一〇　大石橋發前七、三五　后一〇、三五　奉天同后三、三七　前六、三七

從來すき燒專門を以て各位の御引立を蒙り候處今回大方樣の御勸めに甘へ料理をも始め御一人前五十錢迄と定め至極御手輕に御銚子揃へて一圓以下に御遊びを願ふ主旨に御座候間何卒御贔屓

營口二本町　梅廼家　田村瀧太郎

歐米各國最新流行形　西海洋服店　（電話百二十七號）

天氣豫報

營口地方天氣豫報　自二十四日午後六時至二十五日午後六時

南の風曇り

昨日の氣温　昨年ヨリ

## 雜報

### ●隠れたる殉難者（法庫門外の奇禍）

本年三四月頃或る任務を帯びたる一團の志士滿洲蒙古の境なる法庫門に根據を構へ深く蒙古の地に入り四方に手を運らし或る事業に從事せしが不幸にして土人は我が意思を理解せず到る處妨害を受くるの傾きあり然れば注意の上に注意を加へ警戒怠りなかりしが或る日の事糧食寢具等の運搬に要する馬車を他村に行き傭ひ來りしに後にて其の村の土民は馬車を掠奪するものと誤解し土兵五六十騎銃を提げて其の宿舍に追及し來り馬車に一鞭を加へて去らんとしければ我れは懇ろに其の誤解を説けとも滿洲語の通せさる蒙古人は飽までも疑ひを懐き矢庭に銃を執つて手向ふにぞ已むを得す此に銃火を交ふるに至り交戰約三十分にして彼等は遂に馬車を曳き逃亡せしが其の際土民一名彼等の銃丸に當りて斃れ我れは彼れの馬を殪し直に其の村を去りて法庫門へと引揚げたり又同地を去る五六里の所にありし一隊も土民の家屋を借りて餘念もなく職務の打合せを爲し居りし時屋外に當りて俄に警鐘亂打の聲を聞くと共に數十の土民は鍬鋤、槍等を打振り口々に何やら罵りつゝ宿舍に潮の如く侵入し來り技手一名歩兵一名を捕縛しければ他七八名の同僚は友を救ふの暇なく窓を破りて走り出で急を近所にある本部に通告し其の救ひを得て二三日の後其の村に行き多少の抵抗を受けつゝも辛うして俘虜となりし二人を取返し又携帯品等も彼等の手より戻さしめて漸く事件の落着を告けたり

然るに其の後數日を經て又もや最も悲惨なる出來事を惹起せり幷は四月六日技手二名、助手一名外に護衛の歩兵一名、支那苦力一名より成れる一團は茫漠たる沙漠に於て作業中豫て其の行動に不滿を懐ける附近の土兵（時としては馬賊と變する者）五六十名は馬上銃を執りて現れ來り職務に熱中して敢て危險の迫るを知らざりし五名に對し突然射撃せしかは殆ど戰鬪力なき五名は急走退却を始めしも彼等土人は幼少より馬に親しみて騎乘の術に慣れ我れは徒歩にて沙漠を走る事とて急走意の如くならす背後より急霰の如く銃火を浴せ掛け一行を悉く銃殺し尚慊らす槍にて其の腹部を突破り鐵槌を揮つて頭蓋を粋き割り面部及ひ陰部を燒き之を沙漠の中に埋め其の携へし金錢其の他は悉く掠奪したり

此の報告を受けたる本部は直に支那官吏に交渉して加害者の一人を捕へ連日死體の捜索に全力を盡し辛して其の死體を發見せしか皆死して尚歯を噛み合せ腕を扼したる儘沙中より現れたり一見して彼等當時の無念忍ばれ居合す者皆其の死體に對して熱涙を揮ひ深く哀悼の感に打たれたり

嗚呼長へに蒙古の野に眠れる彼等の遺族は如何はかり悲歎の涙に暮れ其の死を傷みしぞ其の行跡は横川省三、沖禎介等の諸士に等しく吾人の同情に堪へさる所也因に記す悲惨の最期を遂けたる志士は技手新潟縣人鳥越香文茨城縣人稻田稅之介、鹿兒島縣人一等卒川越某、助手京都府人高橋藤次郎等の諸氏にして外に支那苦力李某と云ふ者あり

### ●乃木大將と伊東元帥（偶然松本の小學校に會す）

伊東元帥は十四日東郷上村両將に分れ南信に遊び甲州を經て歸京せんとし途中淺間の湯に浴し十五日松本に赴き長野縣女子師範學校、松本中學校に立寄り次で松本小學校に赴き休憩し居りしに此時飄然として單身甲州を經て諏訪に入り鹽尻峠を踰えて善提寺參詣の爲め松本に着したる乃木將軍は元帥の此學校に在ると聞き元帥に逢はんが爲め尋ね來られたり、乃木大將の同地に來らるへしとは豫て噂さに上りし所なるも今日此學校に見ゆへしとは何人も思ひ設けさりし所ならん、乃木大將は直ちに樓上に至り伊東元帥に會見し「余は今此地に來るか閣下の此校に在らるゝを耳にし態々參りたる次第なり」と述へらる空前の日露大戰爭に於て一は海軍の樞機を握り他は旅順の堅塞を抜きし二將軍か期せすして此校に會したるは此學校の爲め無上の名譽なるへし乃木大將の高潔にして慈仁なる伊東元帥を顧み彼方の庭に頭を日光に曝して整列せる生徒を指し「アレ御覽なさい、あの様に生徒か立つて日を受けて居ます、氣の毒ですから早く行つて遣つて下さい」と云ふに元帥はそれは〱はと兩將相携さへて豫て設けの席へ至りぬ、三村同校長は生徒の爲め一場の講話を切願したるに乃木將軍の謙遜なる元帥に讓りて容易に口を開かす依つて元帥は參集せる生徒の爲めに平易なる辭を以つて懇々と小學生徒の心得となるへき點を諭し席を乃木將軍に讓る三村校長は更らに將軍に向つて是非とも一言あり度き旨を懇願して止まさりしかど將軍は最早や我か言はんとする所元帥閣下に於て申述へられたれは今更再ひするは重複を免かれすとて遂に一言なくして止みにき斯くて兩將軍は互に握手して東京にて會ふへき旨を約し門外に出づれは豫て紀念木の手植を乞はんと用意しあるに任せ校長は之を請ひたる處兩將軍とも快諾し先つ伊東元帥鍬を執り次て乃木將軍は紀念木の根の長さをは自から説明して「こんな長い根があつては駄目です」とて之を切り親切に手植されたり元帥は乃木將軍に戯れて「乃木君、御上手ですな」と乃木將軍は酬いて曰く「百姓の手習です」と兩々袂を分つて相別る

### 新作小説　おとし胤　德田秋聲

作者病あり續稿未た到らず數日休揭

### ●近眼先生の浮き身

僕は奥州生れ故假名違ひがあつたら御免なさいよと、頭から人を呑み込み歷一本を資本に日本は云ふに及はす臺灣朝鮮迄も横行濶歩し昨年十一月頃より當地に來り○○工程局に技師てふ肩書をもつて御座る近眼先生はしたゝかの癖物にて四ツ足に接吻して乃公の德は禽獸に及ふと囈言をつき丸髷に主ある花こそ眺め一入と戯れて一陽道中筋の事なれは平に御免と師直の皮肉詫をして赤恥を頂きし事ありて未だ旬日ならさるに又も珍談の種蒔き話といふは二三日前の夜何れにて聞召せしにや痛く酩酊し近眼の瞼重げに目張り上居を舐めずりなから醉餘の元氣金城館に浮れ込み酌を聘べテナ事で仲居はハイ〱の二つ返事で見恭したる金八拍子の仇姿と見るや先生妙的化連な氣持になりて蟇の如き大口遠慮もなく開いた口に牡丹餅と來るや否やの試金石小當りに探りを入るれば柳に風の待遇とは知らぬ近眼の早合點先きの見えぬぞ笑止なれ去る程に金八ならでは夜も明けずと夢中に嬉しがる甲斐もなく近々に金八は丸髷姿に變るとの噂にアツト驚き氣も顛倒したらん如く怪しげな黒の紋付羽織藍微塵の着付け何處から見てもキ印としか見えぬ格好をして逢ふ人毎に金八の近狀如何と問ひ掛くる調子は何處となく氣味惡き目付なるにぞどうやら遂河と及物が危險ない風とは金八裙飛んだ罪を作つたものと○○工程局員連中の湯屋にての物語りを書の如し

### 牛家屯馬上吟　德坊

行く春を何處吹いて來た風かそも
永き日や慢々的の道普請
トロツクに日傘の人や新開地
洋行とありてアンペラ囲ひ哉
近よれば蒜の芽を摘む唐子哉
裏木戸に運歩の人や桃の宿
初孫も載せて春野を霞み行く
測量のポール陽炎ふ廣野かな
守備兵の庭木を移す日永かな
買ひもの丶片荷に鯛や驢馬の尻


### 廣告

來る廿六日午後三時牛莊日本人會會議室に於て本會の總會を開會す

右廣告す

牛莊日本人會々長　瀨川淺之進

### 高野孟矩法律事務所

大連市監部通二丁目五百廿五番地

但高野孟矩不在の節は辯護士戸口茂里代て事務を扱ふ

東京市京橋區南金六町十五番地

大阪市北區河内町一丁目六十七番地

追て當事務所々在の地は勿論仙臺名古屋靜岡横濱宇都宮神戸廣島岡山福岡長崎等には事務上の聯絡を取結居候に付き右各地に於て處理す可き事件も當大連に於て御依頼に可應候

### ●森病院

一診察　自午前八時至正午十二時　自午後三時至午後五時

一往診　午後三時より

▲患者の入院治療を諾す

▲貧困患者の施療は正午十二時より二時迄

▲姙婦の入院を諾す（產婆大道しげ子）

院長　醫學士　森矯

副院長　醫學士　長船郁太郎

●●●●●一本院齒科開設

齒科醫　兒島市郎

森病院（電話一五五）


來ル廿五日ヨリ貨物輸送料金ヲ改正シ尚來ル六月十五日ヨリ小荷物ノ取扱ヲ開始ス

明治三十九年五月二十一日

野戰鐵道提理部

### 貨物輸送料金

一通常扱　百斤一哩ニ付銀五厘

一貸切扱　並品　一噸一哩ニ付銀五錢
　　　　　高價品仝　銀七錢
　　　　　礦屬品仝　銀二錢五厘

但並品及礦屬類ハ大石橋大連間ハ一噸一哩銀貳錢トス

一生獸類、（斤量ヲ以テ運送セザル場合）一哩ニ付運賃割合

牛、馬　二頭迄銀二十錢、以上一頭ヲ增ス毎ニ銀五錢

駒、犢、羊、豚、驢　六頭迄銀二十錢、以上一頭ヲ增ス毎ニ銀二錢

犬　一頭五十哩迄銀三十錢、以上五十哩若クハ其未滿ヲ增ス毎ニ銀三十錢ヲ加フ

一車輛類
　自轉車　一個ニ付一哩銀二錢
　人力車　仝　銀五錢
　荷馬車　仝　銀二十錢
　馬車　仝　銀三十錢

一死体　一個ニ付一哩銀三十錢

一特産物ニシテ多量輸送ノモノハ特ニ賃金ノ割引ヲナスコトアルベシ

### 手小荷物輸送料金

一小荷物料金ハ一斤ニ付五十哩迄銀一錢五厘、以上五十哩若クハ其未滿ヲ增ス毎ニ一錢五厘ヲ加フ

一無賃輸送制限外ノ手荷物料金ハ前項小荷物料金ニ依ル

右ノ外貨物及小手荷物輸送ニ関スル詳細ノ取扱方ハ停車場ニ掲示ス


### 銘酒劍菱　新荷着

右劍菱印新荷着仕候に付多少に不拘御注文被成下度願上候也

遼陽停車場向と

池上出張店

### 質屋營業

精々勉强御便宜相計り可申上候間多少に不拘御仰付け被下度願上候

營口南永世街憲第三十六號

北斗洋行質屋部

M. Iizuka,

Contractor,

Architect and Civil Eginneer.

Plans and specifications made to order.

Estimates submitted.

MODERATE RATES.

No. 151 Yuwansinmiao

Ying Kow

### 和洋雜貨　盛進商行

新着

椅子。卓子。窓懸。卓懸。花莚。マット。油多加織。ビロードセン。

### 諸鐵工製作

鑛山船舶機械鐵工

輕便鐵道附屬鐵工

土木建築用鐵材料

其外鑄物諸般

營口綏定門街ブツシ商會東

川喜鐵工場

### 御料理

板場新來了料理は高尚ト清潔ト廉價ト輕便トヲ打テ一團ノ雪月花ノ會席仕餘ヘ御意ニ從ヒナンデモゴスゲンシンビヨガイ

まつのや

新來の姿等東も西も南も北もわかりませぬもの何卒御引立を願ます

まつのや藝妓　仝　松吉　仝　二〇か　義太夫　牛莊

御客様方

### 瀛船出港案内

盛航丸　廿六日出帆門司直行橫濱行

御乘船の御方は御一報次第切符持參可仕候尚御手廻荷物當店送迎組へ御用命仰付被下度此段奉願上候

大阪商船會社荷客取次　内外船舶代理并傭借仲立　輸出入税関手續　解船人夫運搬請負　諸品委託賣買　水陸輸送貨物仲次所　倉庫業

西北街　德重洋行

### 大勉強

一會席　三ツ鉢吸物附　御一人前銀三十錢より

一まめめし　御一人前二十五錢より

右之外御意に從ひなんでもいたし升

仕出しも仕候

營口元神廟街二〇九號

月日翁亭

### 實業記者一名募集

但し二十五才以上四十才迄の男子にして志望の者は本月廿八日迄に履歴書を持參し本社を訪はれたし

五月二十二日

元神廟街四十四

滿洲通信社

新荷着
▲板材木▲木炭
▲生石灰▲竹、疊
▲亞鉛板▲洋釘
▲日本米▲石材
營口永世街八十號
喜久洋行
(電話百五十二番)

ペンキ塗請負 京阪組
營口豐濟門街李俊宅前
榎本康平

大日本政府特定
官製口付紙捲煙草
滿洲一手輸入發賣
江副洋行
營口永世街

資本金參拾萬圓
日清合股
昌
滿洲昌圖株式會社營口分局
營口元神廟街第貳九八號
總局 盛京省昌圖府東街
既設分局 牛家屯車站、昌圖車站、四平街、通江口、大連、遼陽、
本公司經官准認眞開辦左開生理
一、東淸鐵道轉運
二、昌圖以北馬車運送
三、轉運貨物保險
四、抵貨滙兌
五、各支店所在地棧房
兼辦關內外鐵道又海外轉運(與大淸通運公司連接)東淸鐵道沿路樞要各站分局現方在設備中倘蒙遠邇貨客愛顧務祈貨客親自到本賬房及各處分局賬房面議爲荷特謹白 倘途有水濕毀壞短少等之損傷本公司言明按卸地市價包補此

第二回新荷着
恵比壽ビール
YEBISU TRADE MARK 登録商標
DAI NIPPON BREWERY CO. LTD. TOKYO JAPAN
大日本麥酒株式會社
金升洋行
盛進商行

イロハ索引附
小繙 來原慶助君著
對譯清語活法
附錄 支那時文速知 全
袖珍用旭皮表紙麗る美釘紙數三百餘頁
(定價金五十錢 郵稅金六錢)
此書は著者來原慶助君が曾て陸軍通譯官として黑木軍に在りし際の陣中著述に係り高評嘖々たるは已に世人の熟知せる處刻下滿洲各地方に活動せらるゝの同胞諸君乞ふ一本を備置せられんことを
東京市神田區裏神保町一番地
發行處 三省堂書店

自造
煉瓦●瓦
並に各種石材販賣
營口青堆子
加州組
(電話八十六番)

東營口西北街
裕和盛
電話八一番
東淸鐵道 遼河 貨物運送業
雜貨商
新荷着
朝日ビール
日本酒澤の鶴
洋酒、食料品
和洋罐詰、食器
內外煙草、薬品
エジプト、文具
化粧品、金物類
肥前白米、醤油
酢、木炭、其外
色々
御並に小賣
彩票
每月
大連 鐵嶺 南洋 湖北
發賣
本店 長崎
支店 芝罘 鐵嶺 旅順 京城 仁川 木浦

發賣 材木 標子 木板
◇一
塩川商會
遼陽小西門内 鹽川商會
淸國營口二本町二五五號
主任 鹽川峯吉
(電話一三六番)
外に
●建築用材北海道產松大角(自二十五尺至三十尺)二万立方尺餘
電柱用材杉丸太長(自二十尺至三十尺)八千本
右之品多少に不拘特別安價を以て差上候條御入用の御方は御來臨被成下度候也

軍隊用雜貨
日用品雜貨
呉服太物類
化粧品類
陶器類
食料品類
御小賣
其外新荷着精々安價販賣
石原商店
營口永世街七十号(第二市場東)

和洋酒類
罐詰、菓子
薬品、雜貨
醤油瓶樽詰
防寒具、安價販賣
官製口付莨、文房具
卸商
⊕
豐生洋行
營口西北街
(電話十三番)

○板材木 ○蚊張
○金物類 ○金庫
○疊建具 ○花莚
○椅子テーフル ○ペンキ
○洋燈類 ○文具
○鰹節雜魚 ○紙類
○酢醤油 ○罐詰
○其他雜貨色々
新荷着+安賣
㊉石
營口西北街
石光洋行
遼陽西門外
石光洋行支店

●●告
大阪鐵田組支店開設
今度新に内地より技師及職工を傭聘し土木建築一切の受負業務開設候に付大小に拘らず御注文の程奉祈上候
假事務所營口西北街高砂ホテル内
主任 鐵田米吉

商號
キ キ キ キ キ
夏もの大賣だし
永世街第貳市場前
木村呉服店
五月二十五日より六月四日まで
抽籤ヲ以テ景品ヲ呈ス
(電話八八)

美味安價西洋料理
牛莊亭
營口永世街五十二號鶴の湯東隣

北京發　山海關着　六、二〇　昌圖着

## 宮門抄

二十六日　兵部　太僕寺　廂白旗值日　無引見　崇壽假滿請安　呂珮芬汪鳳藻尹昌齡伺候　召見　召見軍機　呂珮芬　汪鳳藻　尹昌齡

## 奏議

前督辦鐵路大臣盛奏請裁撤勘礦總公司撥款專辦晉礦摺

奏爲各省礦務現經自辦請裁撤勘礦總公司撥款專辦晉礦以赴事機恭摺仰祈

聖鑒事竊臣前在會辦商務大臣任內奏請設立勘礦總公司藉保主權而維礦利各摺片光緒二十八年九月二十五日奉

硃批外務部戶部議奏欽此經部議奏覆勘礦總公司現在上海擬設自須酌發官款以爲商民之倡該大臣代辦陝西義賑既稱尚存餘款銀十萬兩應准其全數撥給該公司作爲官發股本將來如試辦無效即責成該公司如數賠交以重公欵等因光緒二十八年十一月初一日奉

硃批依議欽此欽遵在案其時出使大臣張德彝已將羅豐祿代聘之英國頭等礦師布魯特咨送到滬當即派赴湖南勘查各礦經前撫臣俞廉三派員引導勘得臨湘縣常寧縣鉛礦又函商前署湖廣督臣端方派員領勘竹山縣銅礦又電商前陝西撫臣升允派員往勘洵陽縣銅礦陝省地方官不以爲然該礦師折回即調赴直隸與督臣袁世凱商派委員領勘臨城縣煤礦磁州煤鐵礦二十九年五月該礦師陡患病症即不能出門勘礦時因張之洞奉

命擬議礦務新章臣查英美商約皆載明礦務新章頒行後如准開礦者均須照新章辦理等語關係甚重似非熟習各國現行礦務章程者不足以考究特令布魯特購辦書籍裁成礦律五十九欵又補遺三欵礦章九十一條又補遺一條於三十一年三月編輯完竣第布魯特深諳礦學而於中國情勢尚恐未甚明晰當將華洋賫譯本咨送張之洞並令該赴礦師鄂以備諮詢此臣延聘念頭等礦師到華先後勘礦及撰擬礦章礦律備酌之情形也伏查勘礦之舉原議重在收買礦地免爲外人佔奪實賴各省地方官聯絡一氣方能辦理臣奏准設立勘礦總公司後即撤銷商務大臣差使勢難以上海一隅之局參預各省之事況近年風氣大開各省多已次第設局開辦自應將總公司即行裁撤所延英礦師布魯特以及副礦師李御三年合同期滿已撤回國惟查山西煤鐵礦甲於天下前經山西商務局與英商福公司議定開礦製鐵以及轉運礦產合同將盂縣平定潞安澤州暨平陽府屬煤鐵礦轉與福公司辦理光緒二十八年拳亂後外務部因英使又向理論飭臣與福公司議訂澤道鐵路條欵該英商堅持晉礦合同標題載明開礦製鐵以及轉運各色礦產執定欲在鐵路合同載明准其運鐵意在就礦設爐製鐵運售臣乃秉承外務部就原訂合同內以上盂平等五處鐵礦及化鐵需用之煤與煉焦爐應由中國合股開辦　國家自設鎔化廠凡各礦所出鐵砂均須官廠鍊成鐵磚方准由火車裝運所指各處煤礦如亦願意合辦由山西商務局與福公司再行商議並聲明原合同所載各節除經以上四欵所更改並將來另訂詳細合同外餘均照舊辦理等情經外務部礎商就緒謹繕清單恭呈　御覽光緒三十一年三月十九日奉　旨依議欽此遵行

## 中外要聞

●各駐使籌議中國派稅務大臣事　二十六日上午各國駐京公使因中國政府派員節制海關問題集議除比國公使之外其餘駐京各國公使皆赴會參議各國公使多不以中國政府新設稅務大臣爲然但因目下英使照會外部請收回成命尚未接覆照一俟有外部覆照是否允駁再行開議以便籌對付之策云云按稅關辦法照舊辦理於我國有益無損然此次因新設稅務大臣滋生交涉有害友邦感情於我毫無利益吾人深望當道諸公速講通融之策以固邦交而維大局是爲至要

●官紳恭送內田欽使　日本駐京內田欽使於二十六日下午二點四十分鐘搭乘火車由京回國自那世兩中堂溥尚書聯伍唐胡趙五侍郎美駐京柔使英法等國代理公使以及華洋官商約有二百餘名均赴車站恭送又自日本使署參贊隨員寓京日紳三十餘名亦與欽使同車赴塘沽相送聞內田欽使於昨晚赴唐沽換乘商輪路經朝鮮回國按內田欽使回國時中外官紳擁擠相送實爲近來罕見之盛事可以知欽使駐京時與華洋官紳如何欵洽抑亦可以知中日邦交如何款洽之一斑矣

●俄茶商因驗照之糾葛　聞有俄國茶商由蒙古運茶至俄國畢爾斯克經由科布多城因驗照事致生轇轕由科布多辦事大臣電外部請與俄使交涉

●英對於中國派稅務大臣意見　英國外相克列君關於中國稅務現於下院申述中國政府聲稱派稅務大臣者實屬中國內務事項故中國於其權利內特派大臣以便節制稅關固無不可之理等語堅持不讓但中國政府對此事與西千八百九十六年及千八百九十八年訂立賠欵以稅關擔保稅則毫不加變改一事致生背戾矣

●趙文案奉旨發新疆　法國參贊赴江西查辦教案之時文案趙賡雲爲勒索事發覺現經贛撫奏參原擬請將趙賡雲革去舉人發回原籍嚴加管束五年等因奉　旨趙賡雲著革去舉人發往新疆軍台効力

●中俄議約之延宕　中俄議約久未聞消息茲聞箇中人云俄駐京璞使依然堅持周晃等密約邀求中國允認俄國於江吉兩省之路礦利權雖由唐侍郎據理力爭然俄使藉口要挾不稍退讓故中國無從下手加以近來外部交涉迭起頗形忙碌故無暇與俄議約遷就多日已停議者月餘之久滬埠華報所傳中俄議約稍有眉目諸種條欵已見定奪之說恐係外間擬議之詞毫無實據按中俄議約關係至重不可一日緩屢誌前報如俄國恃强要挾不肯允認我國公正之要求宜據情宣明中外問公論而示抵制若當軸諸公偷安姑息遷就議約含糊了事不特貽笑中外亦且貽悞亞東大局矣

●英土界務問題　前禮拜六土京君斯坦基納布爾電云土皇現已允認將所有兵員由埃及領土一併撤退並確定勘界一事然英駐土全權大使阿工納爾現對此事爲土國尚未盡合猶未滿意再緩期一日以邀求完善辦法又有電云查定勘界事宜現屬茫漠頗欠精密恐貽禍於將來時機適到再致生滋擾也

●晉省介休風災　太原來電云介縣一帶日前倏起大風塵沙蔽大煞時昏黑如夜逾數時之久樹木斯拔房屋震塌者甚多　按近來兩廣江西湖南有水災外蒙烏里雅蘇台有地震山裂地裂之災北直苦旱各省匪災未已加以苛捐催呼强鄰伺隙大局誠危矣哉

## 雜報

●醜漢尋春　聞有蓋平某甲面貌麻醜滿目旋螺靑睛如豆一線光明具形若此自以爲子都之姣美莫巳若年近而立猶屬童身每擬求凰非西子王嬙難遂心願詎身窮無業乃於本埠某薙髮鋪爲廚夫月金五元一錢不肯浪費性喜修飾暇則沿游閭巷冀彼美相逢良緣或締近日足着嵌雲黃履衣紅套袴一双其上下衣裳均極鮮豔惟多以東洋麻縷綴爲之每向居民院內窺瞰婦女或遇男夫甲佯曰潔爾屋宇免受責罰云且其舌蹇言語不眞聞者亦惟唯唯而已然究不知其爲誰昨晨直向五台子村逐門蕩游適被和平區巡捕瞥見詰其來由甲答爲埠內第七派遣所人員該捕辨曰此區不經該所管轄甲怒曰環埠一帶何莫非該所轄境即拂衣以去該捕聞其言不倫類尾而綴之詎甲一轉墻角放步疾奔該捕追而捉獲送於第七派遣所質證皆不相識疑爲晝竊之賊禀於憲兵將拷鞫其供幸有其姊丈亦開薙髮鋪懇求保釋并言其夙因舌蹇近病瘋癎等情憲兵用尺試量甲舌果短不僞遂准保釋放云

●華捕來埠　前夕河北由新民屯駁來巡捕三十名渡過河南全荷軍槍多係洋式肩頭俱嵌蝙蝠誌蓋於本埠軍政署投有照會公文而東署憲兵長官一切悉知該巡捕等即於東街車店暫作旅館駐劄以待日後來分往他處云

●打刼行客　昨午後有一蓋平客人來營買貨身帶羊票一百元錢搭內有現洋十餘元至營南十餘里忽有捧子手二人手執洋鎗阻其前路厲聲喝曰身帶財物速爲留下否則廢汝性命等語蓋客情急即將搭內現洋如數遞給僞曰別無他物二盜得洋歡喜而去客人身帶之財幸得保全云

●昨市行情　茶館元豆七兩三錢共安二百否　河載元豆七兩三錢八分靑豆七兩二錢五分共安三千否　火車元豆七兩六錢一分　豆七兩二錢五分共安　一千否

## 叢談

●誣良爲娼　頃閱某報載有浙江某婦人係已故某大令之眷屬到保定住某店內經工巡局查見指爲娼家强令納捐婦人不服即拘往局中覊押多日後經浙江同鄉公保始行釋放聞該婦以宦眷無故受此大辱憤不欲生或勸其可與興訟不必輕生云云按此種怪狀駭人聽聞無論將來如何結局而現在野蠻無理之現像已令人髮指誣良爲娼律有明條然就中民言之茲以熟讀誣良爲娼之律者而故犯誣良爲娼之禁例亦可謂有冒險之精神而膽識俱優者矣或曰意不在利其爲娼也蓋隱窺以其零丁覊旅之嫠婦而故爲恫嚇之監禁之百端凌鑠而困辱之則其中利益有如眉州所云取之不竭用之不窮者巳噫其言之似過矣大約意在訛索些許以佐薪水之不足情或然歟衆說紛紛莫衷一是姑據有聞必錄之例且以其新奇之罕聞也故誌之

●乞丐之官銜　漢陽函云某午有老邁龍鍾之乞丐在鐵門關鐵廠一帶沿門求食背負一旗大書特書欽賜進寶狀元三江總督部堂張曾芳卦樣未卜是何來歷亦怪狀也

## NEWCHWANG, FRIDAY, MAY 25, 1906.

The first cricket match of the season was played on the Recreation Ground yesterday afternoon. The south wind kept blowing brisk since the morning, but owing to the good levelling work done to the ground, very little dust was raised.

It was a pick-up affair and the opposing sides were captained by Mr. Fulford and Mr. Moore, with Dr. Daly for the umpire. On the former gentleman's side, were arrayed Capt. Dowson, Dr. Philips, Messrs. Colley, Hardy, Irvin Thomson, Bracken, Bowen, Aldridge and J. Bandinel, while on the other side were found Capt. Nuttal, Tisdall, Thunder, Waddilove, McKenney, Bellew, Kay, Lorenzen, and Hagen.

---

Mr. Heinrich Freese whose serious illness from typhoid fever was noticed in our yesterday's issue departed from this life yesterday morning at 6 at the Newchwang Hospital.

The funeral which is to be held under the auspices of Mr. Heuckendorff who had been looking after the deceased's welfare during his illness, will take place this morning at 8 a.m., starting from the mortuary chapel in the Cemetery.

It is learned that the deceased who was in his 28th year was born of a good family near Hamburg, Germany, and had a liberal education. He came out to Tsingtao several years ago, and later kept a language school at Paotingfu, himself being quite a proficient linguist. Soon after the outbreak of the late War, he came down to Tientsin to get into the service of Messrs. Bertram & Co., and remained at their Mukden Branch a agent till near its occupation by the Japanese in March last year. He was later engaged at Shanghai by Messrs. British-American Tobacco Co. and arrived as its assistant agent at Newchwang only on the 13th inst.

---

A Russian D. L. under the assumed name of Sbilka has made a free comment on his observations at the Grand Army Review in Tokyo. The following is a rough translation from a Japanese rendering of the original. The Russian literatus is evidently an extremist judging from his pen-product cited which has none the less much charm in its freedom of expression, if in nothing else:

"The Grand review of the Japanese Army that has worsted the proud host of Cossacks was held in presence of the Emperor on April 30th beneath a cloudless sky.

I wished to attend it and the presentation of a card of mine sufficed to gain me an admission ticket. There was no need for certificate or application as required on such occasion by Russian bureaucracy. And the Japanese authorities knew full well that I had been one of their mortal enemies only 5 months back.

Is such magnanimity to be found in the Russian Government?

As we had been reminded to be at the review stand provided for us in the Aoyama Parade Ground by 7 a.m., we proceeded with the moving throngs of people towards Aoyama carrying in our hands lunch baskets which, were it in Russia, must have been searched by the police under the suspicion of hiding a murderous bomb or a pistol. In place of this distrust and hatred, the love and joy of peace lit up all eyes aglow with their holy flame.

Civil officials apparently of high rank, all resplendent in the pomp of their full dress were wending their way in the same direction. A sight of them instantly called up St. Petersburg in my mind. But not a ferocious-looking gendarme caught the eye. There were policemen on their patrol, howeuer none of that brutal Slav type ever ready to trip the innocent feet into the pits of law.

In the mean time, the Emperor who has made the little obscure islands what Japan is to-day appeared on the scene. His Majesty showed in his beaning countenance nothing of the nervous dread of lurking assassins that ever haunts the looks of Czar.

The Imperial steed did not gallop off for all it is worth, as it might in Russia as if its life and that of the noble rider in Russia depended upon it, in the mad hurry of getting away soonest from his own people."

*(To be continued.)*

廣告

啓者敝館現在擬定推廣報務新增機器以便印刷各種册籍單張凡大而書籍廣告傳單及小而商報名片等類皆能妥實迅速定期取件並能代譯日英各文一切紙料悉從東洋自行運到各式既全價尤廉較之取購本處者其價目格外公道　貴官商賜顧無論何件均可訂印且不拘多寡一律定價以廣招徠務乞隨意惠臨面訂一切可也

滿洲日報帳房謹啓

## 營口旅館料理店案內（いろは順）

旅館 料理 第一樓 營口ホテル 元神廟街九十六號（電話八四番）

料理 入船亭 永世街百八十三號 谷初次郎

御料理並ニ溫泉 一力 毎日新湯 營口永世街 店主 堀万助

旅館 日營ホテル 店主 井上源吉

料理 東京館 永世街八十六號 店主 村上京四郎

旅館 東茂旅館 西北街百七十三號正金銀行西三程

料理 千鳥 元神廟街百三十三號 店主 吉住善藏

料理 沖の島 永世街百六十四號 店主 中川彌三郎

料理 吉野亭 永世街八十六號 店主 坪田正好

旅館料理 高砂ホテル 西北街（電話一四五番） 高砂亭 永世街三十四號（電話十一號） 店主 片山小みつ

旅館 大和館 店主 前田九一郎

料理 滿洲樓 南永世街第十號 店主 直塚勝一

料理 萬梅 營濟門街第百〇四號 店主 田島彌助

料理 まんなをし 永世街字三本町二百十九号 店主 和田常松

和洋料理 公樂園 南永世街

旅館料理 金城ホテル 第二金城ホテル 永世街百六十六號 店主 齋藤富次郎

料理 旅館 醉花園 澁谷旅館 永世街百二十七號 店主 澁田留吉

料理 喜樂亭 營口平野町

旅館 東雲旅館 永世街七號 店主 谷口今朝太郎

## 奉天旅館料理屋案內

さるそば 第一更科 營口元神廟街 永世街鶴の湯角　さるそば 第二更科

和洋料理 松月亭 營口元神廟街一四三号

料理 都樓 平野町 店主 坂本ちか

商人御定宿 瑞豐館 奉天小西關大街北側 館主 河野嘉吉（電話　號）

會席御料理 高等御旅館 天神樓 溫泉付大勉強キレーデライシヒ 奉天小西關大街北側（電話　號）

旅館料理店 日盛館 奉天小西關大街南側 館主 入江能男（電話　號）

旅館 料理店 梅松館 奉天城內灰市街東華門宮殿東側 館主 押尾富次郎（電話　號）

御料理 梅ケ枝 奉天小西門より一丁西の辻北入 館主 辻井ムメ

高等御旅館 茂林館 奉天小西關大街路北（電話二十五號）

旅館料理店 日章館 奉天小西關大什字街南へ入　牛肉すき燒 雞肉 日章亭 奉天大西關（電話　號）

旅館料理店 旭館本店 奉天十間房　旭館支店 館主 原田新吉（電話　号）

御旅館 瀋陽館 奉天小西門外大街路北

さるそば 更科 營口支店 奉天小西門外金城館前

## 遼陽旅館料理屋案內

旅館料理業 日營ホテル支店 主任 林德松

御料理 會席 菊水館 主任 朝枝園捷

旅館 西洋料理 遼陽館 主任 永瀬宇吉

旅館 料理業 公陽館 主任 宮川秀基

---

御料理 會席 末廣屋 主任 山根初之亟

御料理 色々應御注文 凱旋亭 主任 古谷庄太郎

旅館 御料理 遼塔ホテル 主任 木村常吉

遼陽兵站司令部指定ホテル 遼陽倶樂部 營口東雲館支店 主任 谷口今朝太郎

御料理 會席 玉家 主任 西野台三郎

和洋料理 御旅館 滿洲ホテル 遼陽西門街西一七号 上松榮治郎

古料理 滿月 平野町（電一六二）　滿月支店 平野町入口 店主 青木勝惠

奉天 天然清水氷發賣廣告　倉庫（儲） 毎倉庫約二十五万斤 特約一万斤以上　右發賣仕候間至急申込相成度候　奉天小西門外內 大仁洋行

### 社告

今般左記各地へ本社支局及販賣所を開設致し其地に於ける滿洲日報販賣廣告印刷物取次等の業務に從事爲致候間購讀及依賴者諸君は支局又は販賣所へ御申込被下度此段謹告候也

大石橋市街 瑞穗洋行
遼陽西門外 芳文館
奉天大南門內景祐宮胡同 本社支局
鐵嶺南門內 東雙泰
安東縣新市街 天祐公司
新民府 泰東公司

會席料理 三日月 營口警務課前南に入る

---

一和洋御料理 遼東館 遼陽城內東街

本館は遼陽城內第一繁盛の地にあり內外人往來頻繁なり今般四方紳士諸君の御勸に依り宏莊美麗なる日本風の家屋を新築致し一百人以上の宴會等も出來得べく廣間も御座候に付ては續々御光來被成下度花客諸彥に對し親切叮嚀を旨とするは弊館の特色に御座候

旅館 御料理 扶桑館 奉天大西關大什字街 第五分局千〇六十八号 館主 堀田ハル 電話　号

各位樣　和洋會席 御料理　一弊店の特色は座敷廣くして大宴會に適當なり宴會の時は舞台に造附且又會費等は特に割引大勉强仕候　營口永世街二本町 日本館（電話百三十）

DIVING
INOUYE & CO.
Engaging to the work on the wreck of the "Yatsunamaru."
No. 166 Yuwansinmiao, Yingkow.

井上組潛水部　現今八綱丸引揚作業中傍ら一般潛水作業の需に應ず　元神廟前一六六號

旅館 東京樓　萬事勉强乘車乘船好位置 營口中央市場前　店主 熊田兼次郎（電話百七十八番）　即席和洋料理 東京樓支店（電話四十四番）　西洋料理仕出し御需に應ず

---

北支那叢書第壹編 支那政府組織 全 定價一圓

清國の情況を知るは現下の急務なり清國の情況を知らんと欲せば先づ組織の眞相を知らざる可らず老帝國政府の眞相を知らんと欲せば乞ふ斯書を一讀せよ

軍人諸君には特に一割引とす部數に限りあり至急御申込あれ

販賣所 營口重盛街 滿洲日報社

各國高等雜貨 新荷着　歐米各國高等化粧品、新流行夏帽、靴旅行用鞄各種 籐製寢臺、椅子、御婦人用小間物種々 其外珍數品澤山　電話百五十四番　川友洋行雜貨部 營口永世街

新荷着

高等麦酒スペシャルライト

スペシャルライトはピルスナビーヤにして原料精撰風味高尙夏期唯一の好飲料なり

釀造元 大日本麥酒株式會社

滿洲特約販賣店 營口元神廟街 關東公司雜貨部（電話五番）

回天堂三木大藥房（營口永世街）　存案招牌

經營項目
● 各種靈驗丸散膏丹
● 東西兩洋各種藥材
● 各樣玻璃瓶子
● 各種繪具染料
● 消毒及繃帶材料
● 肥皂（胰子）牙粉白粉香水等貨
● 醫化諸學所用機器
● 照相所用藥料及機器
● 些外醫藥應用所有一切各貨一應俱全

（電話百九十番）

凡所備置各貨均皆實心撰擇料正品務期平價發兌而廣招徠如蒙仕商賜顧者或面議或函購或托辦均必認眞辦理無誤 耑此佈告

---

爲替相場（五月二十四日）
日本向 百〇二圓五十錢（日本百圓に付）
上海向 七十一兩四分ノ一（同）
天津向 一百〇三圓八（百弗に付）

日本品最近物價表 加藤洋行
一半紙 一〆 二圓九十錢より三圓廿錢
一美濃紙 全 七圓五十錢
一全紙類 全
一狀袋 百枚 二十枚續 三錢二厘以上四錢
室內裝品飾及寢具 矢野洋行
一疊 一枚 二圓六十錢以上三圓

MANCHURIA DAILY REPORT.
Subscription 4 cts. a copy 80 cts. per month.

本紙定價
一枚ニ付 銀四仙
一ケ月前金 同八十仙
半ケ年前金 四弗八十仙
一ケ年前金 九弗六十仙